

**一般財団法人 NSK 奨学財団**  
**ダブル・ディグリー・プログラム派遣留学奨学金 募集要項（2026 年度）**

**1. 主旨**

様々な分野において国際舞台で活躍し、世界に貢献するという強い意思を持った次世代リーダーとなる若者を支援するため、ダブル・ディグリー・プログラム（以下、DDP と記載する。）で留学をする特に優秀な者に対して下記により奨学援助を行います。

※DDP：複数の提携する大学間で開設された同じ学位レベルの共同プログラムを修了した際に、各大学がそれぞれの学位を付与する制度。

**2. 支援内容**

① 日本人に対する海外留学支援

奨学金として、以下を給付します。

- ・生活滞在費として月額 22 万円
- ・留学先学校納付金の内、授業料等を年額 1000 万円以内  
（DDP での留学で留学先学校の授業料等が免除される場合、留学元学校への納付金(年額 500 万円以内)が支援対象となります。）
- ・DDP 留学プログラムであらかじめ規定された回数の渡航費

**3. 給付期間**

DDP 留学プログラムであらかじめ既定された、留学先校に修学するため海外に滞在している期間。

**4. 支援予定人数**

1 名

※日本人に対しては、全国他大学も含めた本奨学金全体の募集人員は新規 4 名程度(内少なくとも 2 名は女性を採用)

**5. 対象分野**

- ・社会科学系（国際政治・国際経済 等）
- ・理工学系（機械工学・情報科学・環境工学 等）

**6. 応募資格**

次に掲げる要件をすべて満たす者。

- ・2026 年 4 月から 2027 年 3 月の間に留学を開始する者
- ・学業人物優秀、心身健康、真に経済的援助の必要な者
- ・応募時に本学に在籍する者
- ・応募時に日本国籍を有する者
- ・応募時に 35 歳未満の者
- ・DDP 留学により所定の分野の修士以上の学位取得を目的とする者
- ・他の奨学金を併用して受給しない者

## 7. 申請及び選考

受給希望者がいる場合は、2025 年 12 月 19 日(金)までに以下の書類を学内情報伝達のルールに順じて通知メールのタイトルを変えずに先頭に貴部局名を入れて返信してください。

- ① 推薦文書(様式任意)
- ② 学業成績証明書 (大学院学生は学部の学業成績を含む。)
- ③ プログラムの派遣期間が分かる書類

※ 回答例 :Re:【工学部】(回答)【教留海】(通知:12/19(金)まで)一般財団法人 NSK 奨学財団ダブル・ディグリー・プログラム派遣留学奨学金(2026 年度)の募集について

※ ②③の書類を DDP 留学プログラムの応募書類として留学生課に提出している場合は、提出不要です。

※ 選考などの状況により、追加書類の提出を依頼する場合があります。

グローバルラーニングセンター内で選考のうえ、2026 年 1 月上旬(予定)NSK 財団に推薦します。その後、NSK 財団による面接選考のうえ合格者について採用内定者となります。

## 8. その他

・ 学内選考で合格となった場合においても、NSK 奨学財団が東北大学を本奨学金の推薦依頼大学に指定しなかった場合、NSK 奨学財団へ学生を推薦することは出来ません。

※ 応募のスケジュール上、本学が NSK 奨学財団へ推薦依頼大学の指定を希望した段階で学内募集を開始しております。

・ 奨学生は、DDP による修学期間の間、NSK 奨学財団に学業成績および生活状況について報告することとなります。

・ 当該財団の主催する行事への参加など財団からの各種要請について、勉学に支障の無い限り、参加協力することとなります。

・ 本学が取りまとめを行う民間団体等留学奨学金（例：トビタテ!留学 JAPAN 日本代表プログラム、TOMODACHI 住友商事奨学金、米日カウンシル渡邉利三寄付奨学金、公益財団法人佐藤陽国際奨学財団奨学金）等との併願は認めません。

・ その他留学奨学金：併願可とするが、本奨学金に採用決定した場合は、他の留学奨学金の採択及び条件にかかわらず全ての申請を辞退し、本奨学金の受給を選択しなければなりません。なお、併願不可となっている奨学金との併願は認めません。